

# 祝 成人

『やわらかい砂のうえ』 寺地 はるな/著 祥伝社 913.6テ

大阪の税理士事務所で働く駒田万智子は24歳。ふとしたことから了さん、冬さん、美華さんといったふたまわり以上も年の違う友達ができ、万智子はさまざまな考え方や生き方を知ることになります。

必要以上に考えすぎてしまう「面倒くさい」万智子ですが、まずは動いてみることをアドバイスされ、気になる彼を追いかけます。彼女のしなやかに成長する姿にエールをおくりたくなります。



『どろぼうの神さま』 コルネーリア・フンケ/著

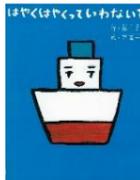
WAVE 出版 K9437

あなたは大人になりたいですか？ それとも子どもに戻りたい？ 大人になりたいけれどまだ子どもだという証拠で、子どもに戻りたいのは大人になってしまったからだ、なんていう説もあります。さて、その両方が登場するこの本は、ヴェネツィアが舞台のちょっと不思議な冒険物語。大人になったあなたも子どものままのあなたも、どうぞ楽しんでください。



『はやくはやくっていわないで』 益田 ミリ/作 平澤 一平/絵  
ミシマ社 Eマ

小さな舟が海を進みます。海にはその舟よりも速いものや遅いものなど、様々なものが思い思いのペースで存在します。現実でも様々な環境や人と関わりを持ち、過ごしていく中で、時には壁にぶつかることもあります。そんな時にはきっとこの絵本が自分や周りを見つめなおし、新しい気持ちを作るきっかけを与えてくれます。



『人生が面白くなる学びのわざ』 齋藤 孝/著

NHK 出版 379.7サ

世は生涯学習時代。「わたし」にもアップデートが必要です。でもどうやって？

人類は学ぶことにより進化してきました。では「学び」とは一体何か。どのように学ぶのか。世界一受けたい授業でも人気の教育学者、齋藤孝さんが、先人たちの学びを糧に、人生をより面白く豊かにするための学びの「わざ」を解説します。



『和菓子のアン』 坂木 司/著 光文社 913.6サ

人生甘くはないけれど、甘いものがあれば頑張れる……かもしれない。やりたいことをみつけられず、18歳の杏子は和菓子屋で働き始めます。歴史ある和菓子屋を求めに来るお客様、個性豊かな同僚に囲まれ、日々を忙しく過ごすうち杏子は様々なことが見えてきます。ぼたもちとおはぎの違いなど、和菓子の豆知識も楽しめます。



『名作うしろ読み』 斎藤 美奈子/著

中央公論新社 902サ

『坊っちゃん』や『雪国』など、読んだことがない名作でも最初の一文は知っている、しかし最後は知らないという人は多いのではないのでしょうか。本書は、先に結末を知っても名作の面白さは変わらないと豪語する著者による、あえてラストの一文を紹介している本です。軽妙で切れ味抜群の紹介文に、読んでみたくなること必至です。



『世界を信じるためのメソッド』 森 達也/著  
理論社 K361モ

「メディアは人だ。だから間違える。僕たちの世界観は、メディアによって作られる。だからメディアはとても大切」(本文より抜粋)でもメディアが間違ってもたいていの人は気づきません。じゃあどうすればいいと思う？ 生まれた時からネットが当たり前にある世代の皆さんに、ぜひ読んでほしい1冊です。



『ドルフィン・エクスプレス』 竹下 文子/文 鈴木 まもる/絵  
岩崎書店 K913夕

「すくなくとも、いま、じぶんが、じぶんだ、と自信をもっていえる生き方をしたい。」

海の特急貨物便配達員のテールは、今日も船を風のように走らせる。小さなふしぎな包みの送り主は、伝説のヨットレーサー・サンゴロウだった。その出会いをきっかけに、テールは好きでやっている仕事や自分の生き方と向き合っていく。



『チェンジ! パラアスリートを撮り続けて、ぼくの世界は変わった』  
越智 貴雄/著 くもん出版 K780オ

夢を持ち続け、カメラマンになった越智さん。彼は、パラアスリートを撮り続けています。「自分の決めた道を突き進む」選手たちの姿に惹かれるからだそうです。自分だけの道を作り続けるパラアスリートたちの姿には読んでいるこちらも心を動かされます。



『大事なことはみーんな猫に教わった(そしてもっと)』

スージー・ベッカー/著 谷川 俊太郎/訳 飛鳥新社 726.5ペ

愛らしくて癒しの存在、猫。そんな自由気ままな猫が教えてくれる生き方のアドバイスがたっぷり収録されています。気を引き締めることも必要ですが、たまにはちょっと一休みも大事。猫からの教を思い出すと肩の力が抜けるかもしれませんよ。



『負けるぐらいなら、嫌われる』

ラグビー日本代表、小さきサムライの覚悟

田中 史朗/著 ベストセラーズ 783.4夕

日本代表としてラグビーワールドカップで活躍した田中選手が、2016年に書いた本です。この本を読むと前回大会のこと、海外リーグ、チームワーク、また家族のことなど、田中選手の考えがわかります。

世界で活躍する田中選手は、ただ勝つことだけを考えるのではなく、ラグビーが日本の文化となって根づくことを願いプレイしています。そんな田中選手の熱い思いが伝わる1冊です。

